

西大和学園補習校 アーバイン校舎 中学部進学説明会資料

1. 中学部教育目標と方針について

本校の教育方針に基づき、アーバイン校舎中学部独自の重点目標を設定します。

○本校の教育目標

世界で活躍できる真の国際人を育てる。

米国で生活しながらも、高い日本語能力や日本語で思考する力を育て、かつ維持していくための特化した教育。

○アーバイン校舎中学部教育目標

中学卒業程度の基礎的な国語力の定着を目指すとともに、**高い日本語活用力**を育てる。

日本人としての教養を身につけ、日米の文化を理解し、ひいては異なる価値観で考えられる素養を養う。

2. 教育課程と教育内容について

設置学年：中学部7年（中学1年）8年（中学2年）9年（中学3年）2016年度は中学部7年のみ

国語1	国語2	表現（仮称）	社会
教科書を使った授業を行う。 教科書を読める基本的な読む力、問題を解く力等国語力を身につける。	漢字の読み書き 言葉の使い方 ことわざ 慣用句 四字熟語等	国語1、2の学習と関連させ、日本語で考え、判断し、表現できる力を養う。（評論文、感想文、討論、弁論、俳句短歌等を取り入れる予定）	社会科で日本の文化・歴史・地理・経済・政治等、基礎的な知識を学ぶことを通して、日本人としての教養を身につける。

・日本国内用の教科書が配布されることに伴い、原則学習も各学年の「学習指導要領」にそった内容となります。授業時間を考慮した精選された内容になります。高い日本語活用力を育てるために、日本語で話したり、書いたり等表現できる力を育てる学習も含まれます。

・成績については、本校の内規にしたがって、評価します。

・新年度開始までに、一部改訂されることもあります。

3. 教科書・副教材について

日本国内用の教科書が配布されます。副教材は、選定中。

4. 家庭学習について

授業で学んだことをさらに深めたり、復習や発展・補充学習に取り組んだりするため、小学部同様家庭学習に取り組めます。授業時間4時間に相応した、家庭学習の分量を設定します。

宿題例：国語・表現（仮称）—漢字テスト勉強、作文等の課題、副教材やプリント（読解問題）
社会—副教材やプリント

5. 中学部進学にあたって

まず、ご家庭で、補習校で学ぶ意義をよくお子様と話し合ってください。

お子様の力を伸ばすためには、家庭学習と授業と両方に取り組むことが基本です。よって、以下の進学基準を確認していただき、進学するかどうかを検討してください。

- ①第六学年の学習が定着されているかをふまえ、中学部での学習を継続できる、または継続しようとする強い意志を持っていること。
- ②便覧に記載されている学校生活上の規則についても順守できること。
- ③中学部で学習する意義をよく理解して、自ら学習に取り組み、考えられる姿勢をもつ。

⇒中学部卒業に向けて、教職員一同全力で指導してまいります。

6. 進学の手続き

1月初旬に進学希望調査用紙を配布し、1月中旬ごろ進学希望調査締切となります。2月学年末テスト後、校長面談を行い、所定の手続きを経て、進学許可となります。



7. 入学式

4月始めに、小学部と合同で行う予定。

8. 中学部進学後想定されること

- ・家庭学習の継続困難な場合や欠席が多い場合
- ・教科書の読み書きのレベルや理解度のレベルについていくことができるか

メモ

2015 年度秋

当日準備メモです

24日準備
中学部教科書、副教材、
案内板
カラオケセット

中学部設置校内検討事項・・2015年10月10日現在

時間割案：

国語1
国語2
社会
表現？

数学:高学年になると、低学年と違い、現地校の数学と数学の範囲の違いが大きくなる。子どもによっては、Algebra1 Algebra2 Geometry を習った子、習っていない子が混在する中で、全員が満足いくように教えることは難しいし、無駄が多い。

○国語・・・市販教材、要検討

・国語重点目標

・重点指導事項

読解教材（中心教材のみ扱う？）

意見文？弁論？読書感想文？

・国語2で、漢字テストや言語事項など？

・表現？・・・国語1で学習した「書く」単元の具体的な指導。添削、言葉の使い方、文法指導等
家庭学習で行いにくいので、指導したいことが明確に生徒に指導できる。細かい添削が可能。
時間が余れば、四字熟語調べ、慣用句、俳句・短歌づくり等

○社会・・・扱う領域の検討

1. 各学年に添っておこなうか？=すべての領域

（デメリット：学習が浅くなる可能性。社会の教員の採用問題。メリット：教材やハード面管理しやすい）

2. 1年：歴史 2年：地理： 3年：公民

毎年、安定して年間指導計画がたてられる？（学習内容が多い？知識系や、学習する項目に緩急をつける？）

3. PV校舎と同様か？=年度ごとに学習する領域を設定

（デメリット：教材管理、教科書管理の難しさ。 中学部生徒全員、合同社会が可能だが、教室の広さの問題。

メリット：教員が一度の教材研究で一日をまかなえる。一年かけて深めることができる。）